

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所あゆみ（ほっぷ・すてっぷ・じゃんぷ）		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 12日		～ 2025年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15人	(回答者数) 9人
○従業者評価実施期間	2026年 1月 8日		～ 2026年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 2日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保育士・児童指導員といった専門職が療育・支援に関わっている。	・各専門職がプログラムの作成に関わっている。 ・個別療育では専門的支援実施計画書を作成している。 ・一人ひとりのアセスメントを各専門職の視点で行う事ができている。 ・保護者とのフィードバックの時間をしっかりと設けている。	・各専門職の取り組みをさらに充実させるために他の職員に周知する時間を考慮する。
2	・事業所内で毎週発達に関する研修や事例検討を行う機会がある	・業務時間内に研修がある事で多くのスタッフが参加する事ができる。	・研修報告を兼ねて研修後通所の子どもの事例と合わせて話し合いの時間を設ける。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者の方へ非常時などへの対応(緊急時、感染症など)に対する周知・発信不足。 ・訓練等実施している事への発信不足。	・防災への取り組みや緊急時の対応は作成しているが、契約時のみの説明に留まり周知機会が不足。	・防災への取り組みや緊急時の対応に関しては、内容の確認のもと年度初めに保護者へ周知していく。
2	・利用時と地域との交流機会や保護者同士の交流機会の企画・提供不足	・療育内容や支援といった「本人支援」に重点を置いており「地域支援・地域連携」に対する情報取不足・取り組み不足	・安全面を顧慮しながら、近くの公園などから少しずつ交流の機会を増やしていく。また、地域の活動などの情報収集を行う。
3			